

令和7年度 西原南こども園 職員自己評価シート（保育教諭等）

行動指針に対する状況を記入します。（1(あてはまらない)⇔ 3 ⇔5(とてもよくあてはまる)） ※評価の平均値は（少数点第2以下四捨五入）

※評価の計、合計の値は、全ての保育教諭の計、合計の値の平均値を表しています。

行動指針		評価の平均値
1 教育・保育目標に基づく学級経営の充実		評価点の計（最大値35）
1	園の教育・保育目標及び教育課程に基づいた学級経営を実践し、定期的に評価・改善している。	3.5
2	学級目標を具現化し、意図的かつ計画的な学級経営と保育実践を行っている。	3.6
3	一人ひとりの幼児を大切に、幼児同士も互いの良さを認め合える学級となっている。	3.8
4	園児が主体的・自発的な活動ができるよう適切な援助を心がけ、環境構成を工夫している。	3.7
5	学級のことについて、他の職員とも積極的に情報交換を行っている。	3.7
6	室内外の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。	3.2
7	保護者の理解を得ながら、特別な支援を要する園児の個別の指導計画、個別の教育支援計画を立案をし、実践する。	3.2
2 教育・保育の質の向上		評価点の計（最大値50）
1	園内カンファレンス等を通して、多面的な幼児理解をしている。	3.6
2	相互に保育参観を行い、教育・保育を高め合っている。	3.5
3	週日案の中で日々の保育や記録を振り返り、評価・改善をしている。	3.5
4	研修会や研究会には自己課題を持って参加したり、専門書を読んだりしながら自己研鑽に励んでいる。	3.0
5	園児の自発的な活動を促がす環境構成となっているか振り返り、改善を行っている。	3.5
6	保幼小の連携の中でそれぞれの保育・教育内容について理解し、円滑な接続に取り組んでいる。	2.7
7	小学校と連携して接続期のカリキュラムを活用した実践を行い、公私連携型こども園としての役割を意識しながら保育所・私立幼稚園・私立こども園と連携し、教育・保育課程をつなげている。	2.7
8	必要に応じて個別の支援計画・指導計画を作成し、障がいの状態に応じた指導の工夫をしている。	3.5
9	職員同士で共通理解を図り、連続性のある教育・保育を行っている。	3.7
10	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深め、それに基づいた保育を実践している。	3.5
3 子育ての支援の充実		評価点の計（最大値35）
1	家庭との連携を密に行い、個々の幼児の家庭での生活の様子を把握できるようにしている。	3.6
2	クラスだより等で、教育・保育の内容やねらい、子どもの様子等をわかりやすく伝え、子育てや幼児理解に必要な情報を発信している。	3.0
3	学級懇談会や保育参観等において、保護者同士のつながりがもてるような場を提供している。	2.7
4	日々の情報交換や個人面談等で子育てについて保護者の悩みを聞き解決に向けて丁寧に対応している。	3.5
5	事故や問題が起きた場合に保護者への説明や対応が迅速かつ的確である。	3.9
6	不適切な養育や虐待を受けている疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防について手、保護者向けに子育ての情報提供及び関係機関との連携を図っている。	3.9
7	家庭と連携しながら食べて・動いて・よく寝ようを推進し、基本的な生活習慣の形成を目指した援助を行っている。※生活習慣アンケートの活用	3.3
【取組状況に関するコメント】		評価点の合計（最大値120）
<p>【保育教諭の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内の環境構成がうまくできなかった事が課題 ・クラスの子どもの様子をメモに取り、他の職員から意見を聞いたり、考えたりする事を意識した。 ・接続期のカリキュラムを活用した実践の取り組みを小学校との交流を通しもっと深めていきたい。また、校区内の保育園との関わりも深め実践していきたい。 ・保護者同士が繋がりを持てるような関わりができなかった。 ・全体的な計画等を読み取り、計画を作成し、保育の質をもっと高めていきたい。 ・職員同士で高め合える関係づくり環境づくりを行っていきたい。 ・子ども達が自分で考えて行動したり、友達の思いに気付くことができるような声かけや援助を意識した。 ・保護者ともコミュニケーションを多くとることを意識していった。 ・小学校と連携を意識した関わりに課題を感じた。 ・午後の交流で、教育時間で行った遊びの継続ができるよう環境を整えた。 ・日々の保育の奏で担任同士で連携を図り改善に努めたが、うまくできなかった部分もあり、次年度へ繋げていきたい。 ・自発的な活動になるような取り組みや遊びの工夫を意識した結果、子どもの主体性や成長が見られたので良かった。 <p>【自己評価シート（保育教諭等）の分析及び課題】</p> <p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分では保護者との連携が上手くいっていたと感じていたが、保護者の立場になって考えた時、もっと支援が必要だったと感じた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間の情報共有や学びを深め、幼児理解に繋がるような環境づくり ・接続期のカリキュラムを活用した実践の取り組みと校区内の保育園との関わり ・教育時間と交流時間の遊びの継続ができるような環境づくり ・教育・保育の共通理解、主体的で連続性をもって取り組めるような環境づくり ・保護者支援の理解を深める 		81.8